一　般　質　問　通　告　書

平成２２年２月２４　日提出

嵐山町議会議長 藤野　幹男　様	議席番号	氏　　名	受付番号
	１３	渋谷登美子	

下記のとおり質問したいので通告します

No.	質　問　事　項	質　　問　　要　　旨	答弁者
3	０才から４才までの子ども対策	（１）町として、保育園の必要性を求めるアンケート調査の結果と、実際の保育園希望の差についての分析とその解決についての考え方を聞く （２）保育園整備の拡充及び、国は２０１１年幼保一元化を目指す考え方があるが、町の幼保一元化についての展望を聞く。 （３）保育に欠けない子どもの居場所のサポートは。	町長
4	義務教育終了後の若者への対応	（１）国において高校実質無償化を行うが、高校中退者等への社会参加支援の道筋がない。若者への対応が遅れている。未成年の若者のうち、学業についているもの、仕事についているもの、ニート状態の数・実態把握を聞く。高校退学・高校不登校について、町教育委員会は、連絡を受ける仕組みを作るべきだが考えを聞く。 （２）成人式のあり方を、町主導ではなく新成人の企画に任せる方法への変更を求める。 （３）若者の集まる場・機会の提供が若者を育てるためには効果的だが、考え方を聞く	教育長 町長
5	生ごみ資源化について	生ごみ資源化は自家処理できる世帯と自家処理できない世帯がある。小川町の場合、一部分別回収が一部町で行われ、有機農業グループで資源化が行われ、約5%の世帯が参加している。住居・生活スタイルによって生ごみ資源化のあり方は異なり、様々な方法がある。嵐山町は、自家処理補助金のみが行われているが、補助金も未消化である。ごみ焼却の改善を行うための取り組みを進めるべきである。今後の方向を聞く。	町長